



2023年5月11日

各位

会社名 株式会社 J T O W E R  
代表者名 代表取締役社長 田中 敦史  
(コード番号: 4485 東証グロース)  
常務取締役 CFO  
問合わせ先 コーポレート本部長 中村 亮介  
(TEL. 03 - 6447 - 2614)

## 2023年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年2月8日に公表した2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 通期業績予想との差異について

#### (1) 2023年3月期通期業績予想と実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	(参考) EBITDA*1	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,200	百万円 1,290	百万円 △290	百万円 △1,730	百万円 △1,970	円 銭 △89.53
実績値(B)	5,228	1,688	117	△1,238	△1,602	△72.84
増減額(B-A)	28	398	407	491	367	-
増減率(%)	0.6	30.9	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	4,216	1,696	560	555	644	29.56

\*1: EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+長期前払費用償却額

#### (2) 差異の理由

売上高については、概ね前回公表予想どおりに推移し5,228百万円となりました。

利益面については、主に、販売費及び一般管理費として発生を見込んでいたタワーカーブアウトに係るシェアリング準備関連費用360百万円の一部について、発生時期が後ずれしたこと及び委託業務量の見直しにより発生金額総額の減少が見込まれることにより、当該費用が321百万円減額となった影響等から、営業利益は前回公表予想を上回る117百万円となりました。また、営業外費用として発生を見込んでいたファイナンス組成費用が58百万円減額となった影響や、税効果会計の適用による法人税等調整額107百万円等を計上した結果、経常損失は1,238百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は1,602百万円となり、前回公表予想を上回りました。

以上